

# 浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2023年5月の調査結果報告（2023年7月発表分）

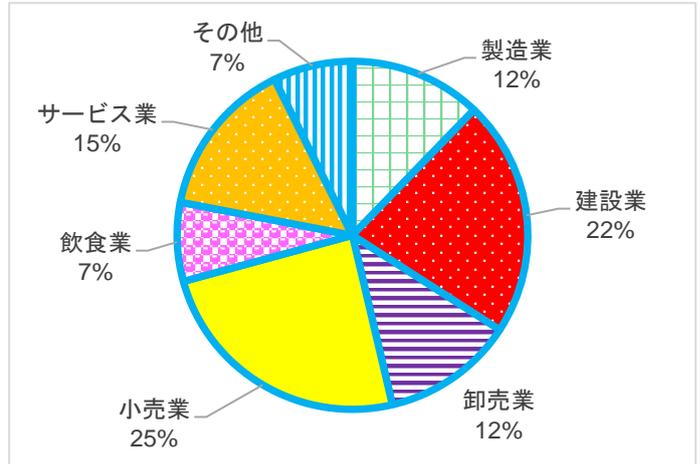
浜松商工会議所

## 調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2023年度景気ウォッチャー調査員（64名）を対象に、WEBアンケート調査を行いました。

回答者数は41名（回答率は64.1%）

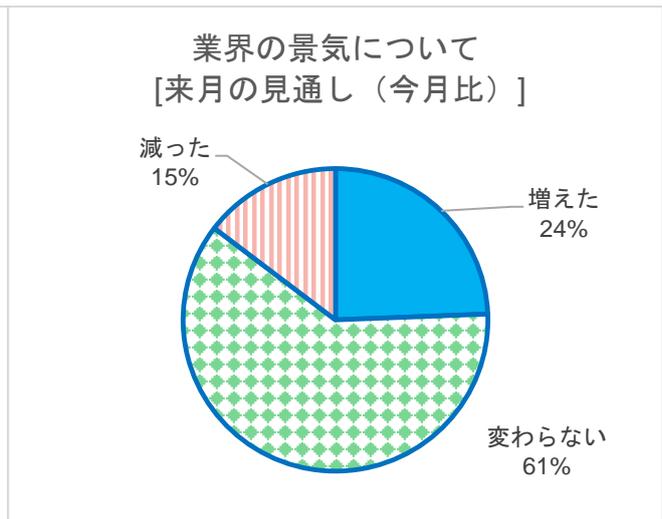
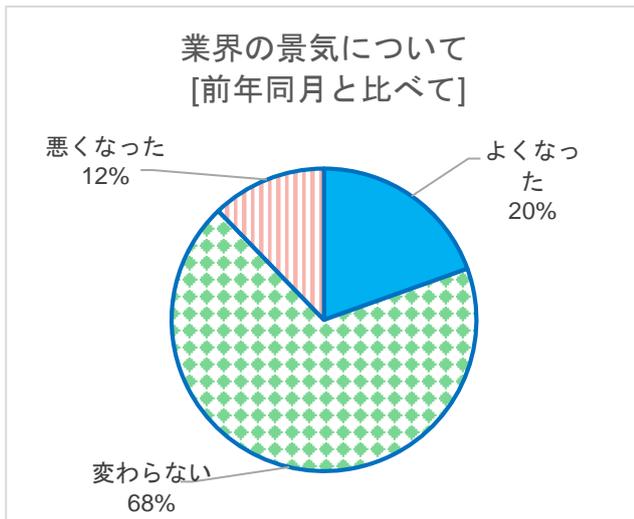
業種	回答者数	構成比
製造業	5	12.2%
建設業	9	22.0%
卸売業	5	12.2%
小売業	10	24.4%
飲食業	3	7.3%
サービス業	6	14.6%
その他	3	7.3%
計	41	100%



## 調査結果のポイント

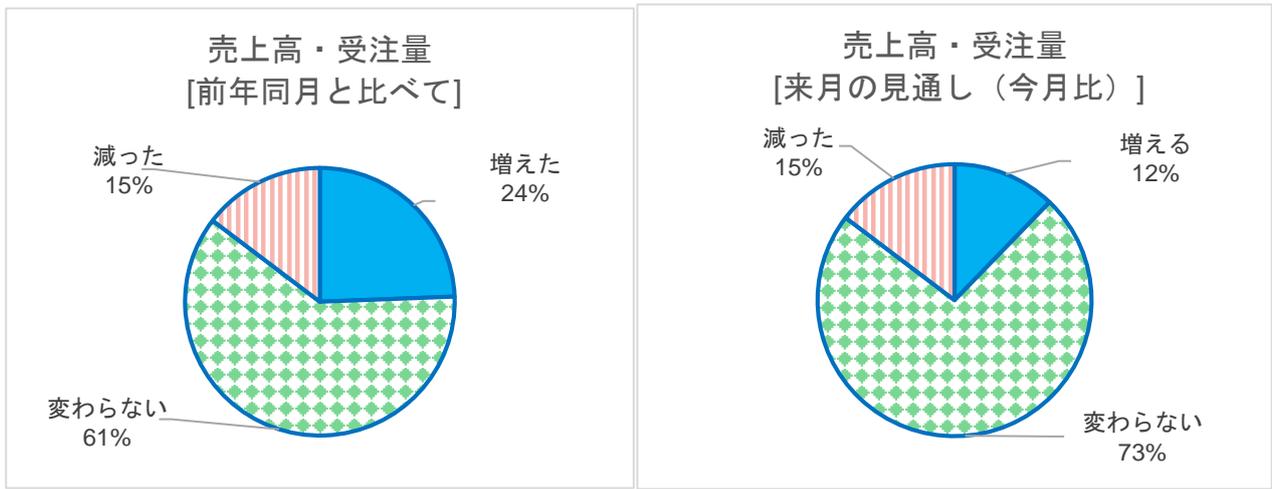
### <景況>

- ・2023年5月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が19.5%、「変わらない」が68.3%、「悪くなった」が12.2%となりました。
- ・2023年6月以降の見通しについて、5月と比較して、「よくなる」が9.8%、「変わらない」が80.5%、「悪くなる」が9.8%となりました。



### <売上高・受注>

- ・2023年5月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」24.4%、「変わらない」が61.0%、「減った」が14.6%となりました。
- ・2023年6月以降の見通しについて、4月と比較して、「増える」が12.2%、「変わらない」が73.2%、「減る」が14.6%となりました。



**【景気動向DI（毎月版）】**

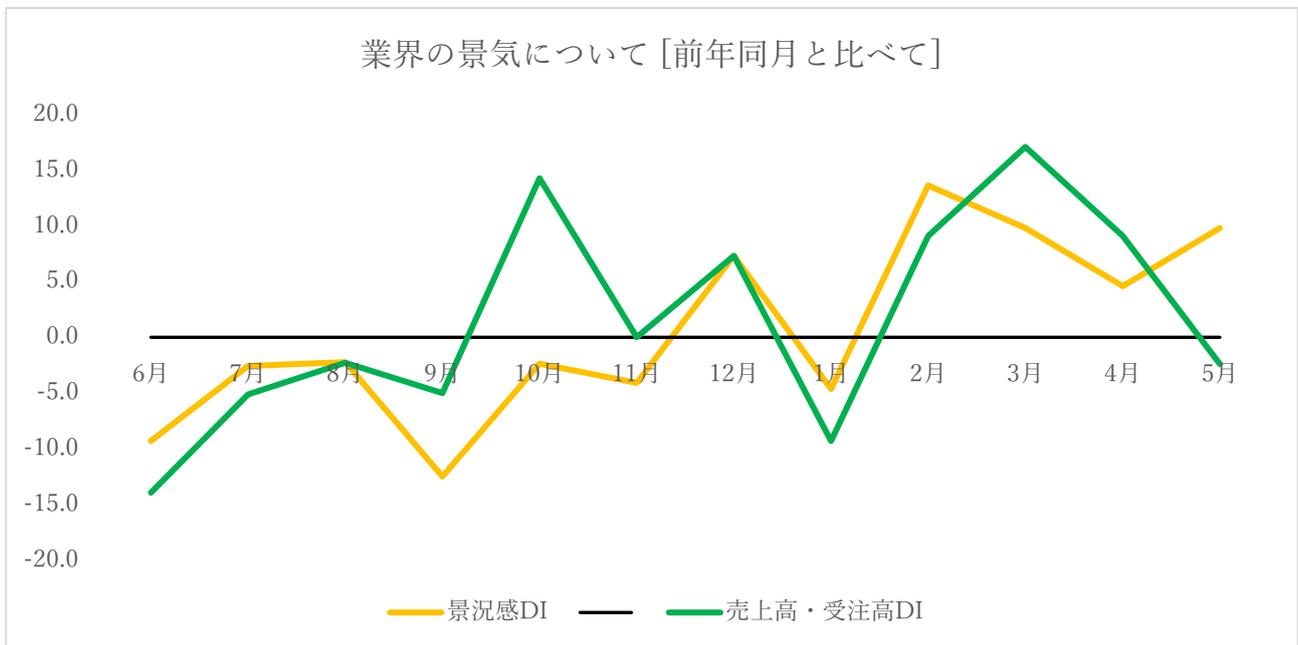
<概要>

景気ウォッチャー調査員64名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高のDI値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI（ティフュージョン・インデックス）…前年同月比または前期比で「よくなった（よくなる）」と「悪くなった（悪くなる）」と回答した企業比率を引いた数値。

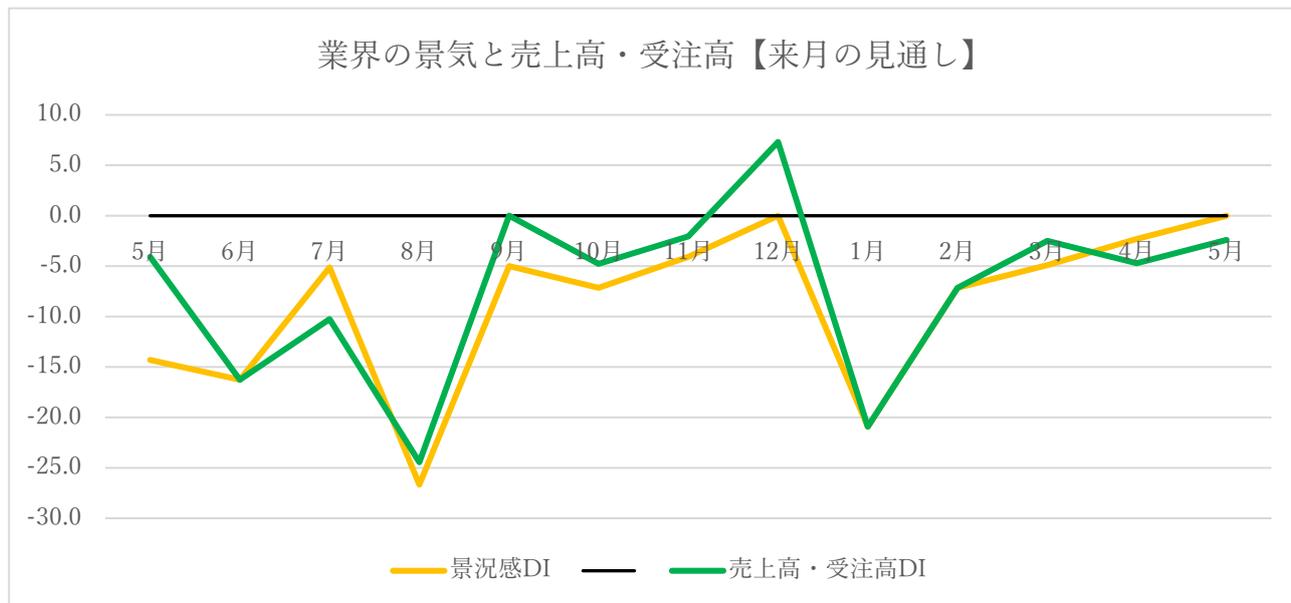
⇒0より上ならば「よくなった（よくなる）」と回答した人が「悪くなった（悪くなる）」と回答した人が多いことを意味します。

2022年6月からの景況感と売上高・受注高（前年同月比）は下記の通りです。



業界の景気について [前年同月と比べて]												
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
景況感DI	-9.3	-2.6	-2.2	-12.5	-2.4	-4.1	7.3	-4.7	13.6	9.8	4.6	9.8
売上高・受注量 [前年同月と比べて]												
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
売上高・受注高DI	-14.0	-5.1	-2.3	-5.0	14.3	0.0	7.3	-9.3	9.1	17.1	9.1	-2.4

2023年6月からの景況感と売上高・受注高（来月の見通し）は下記の通りです。



業界の景気について[来月の見通し（今月比）]													
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
景況感DI	-14.3	-16.3	-5.1	-26.7	-5.0	-7.1	-4.1	0.0	-20.9	-7.1	-4.9	-2.3	0
売上高・受注量 来月の見通し（今月比）													
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
売上高・受注高DI	-4.1	-16.3	-10.3	-24.4	0.0	-4.8	-2.0	7.3	-20.9	-7.1	-2.5	-4.7	-2.4

【調査対象者のコメント】

業界区分	業界動向や地域に関する困りごと
楽器(製)	新型コロナウイルスが流行して以来、息を使う楽器は少し敬遠されている感じがあったが、5類に移行してからはその影響も和らいできていると感じる。5月はゴールデンウィーク、浜松まつりもあったことから久しぶりに売上が多かった。この流れを継続していきたい。
事業協同組合 (ものづくり)	人材不足が続いている。
事業協同組合 (鍍金)	エネルギー・原材料の急騰により、収益率が著しく悪化している。
土木工事業	昨今の資材高騰と慢性的な担い手不足。
電気配線工事業	資材不足が解消されない、資材にもよるが発注後1～3カ月、中には18か月待ちもある。
総合建設業	若手人材の確保に苦戦している。
木製家具(製)	新卒の入社、昨年なし。本年は採用したい。
鋳材(卸)	工作機メーカーの受注減。
鋳材(卸)	工作機業界全般に受注が減少している。
税理士	下請け先の事業承継問題が深刻。
菓子材料(卸)	技術を競うコンテストが行われたが、参加者が年々減っている。働き方改革の影響に加え、電気代等の値上がりに仕事+αの技術向上の機会や意欲を奪われているのを感じる。
茶(加・小)	人の出も増えたが、もてなす店側に人も資金も余力が無い。知恵を求めて打ち合わせが増える。

家庭電化製品(販)	天候が不順な為に、季節商品の動きが鈍い。除湿機のリコールが発生した為、除湿機が間に合わない。商品が間に合うのは、秋口との事。
事業協同組合(青果)	組合員の高齢化が進んでおり、あと何年で廃業すると言う話をよく耳にする。
事業協同組合(石油)	販売数量は前年並み、マージンは減少と苦しい5月であった。コロナの影響はなくなったが原油価格は下がる傾向がない。政府の補助金は6月より漸減していくので、その分販売価格が上昇する。
燃料(小)	近年、災害級の豪雨による河川の氾濫や浸水が多く発生している。6月2日の豪雨では、当社の顧客に被害は無かったが、ガス容器の流出防止措置等防災対策が急務である。
事業協同組合(飲食店)	アクリル板の処分方法などが分からない。
警備業	需要過多の警備業ですが、供給する警備員となる人財の確保ができていない状況。
税理士	ウィズコロナからアフターコロナに移りつつある。経済状況も活気がでてきた。しかし人手不足が表面化しつつある。特に若い人が求められている。
社会保険労務士	マイナ保険証に関わる業務なので昨今の紐づけミス続出で不信感を持たれると辛い。
ディスプレイ業	業界自体は上向きになっているが人手不足が問題となっている。
家庭電化製品(販)	郊外型のスターボックスが、葵東にオープンした。ドライブスルーを利用するお客様も多い。

<b>■新型コロナウイルス感染症の影響</b>	
税理士	コロナの影響は緩和。
農産物(卸・加工)	新型コロナウイルス感染症の影響や物価高騰・円安の影響により以前とは経済動向が変わってきているように感じる。しばらくは不安定な状況が続くような気がする。
警備業	イベント等、スポーツ等の催しがコロナ前までにほぼ戻り、それに伴う警備業務がほぼ戻りました。
<b>■物価高騰・円安の影響</b>	
楽器(製)	相変わらず、物価の高騰は止まらない。一度上がったものはなかなか下がらないので、この影響は当分継続しそう。仕入れ先の変更、材質の変更など単純に価格への転嫁ではなく、いろいろな考えで対策していかないといけない。
木製品(製)	ウクライナの戦争開始時は数ヶ月資材が入手困難になったが、最近は安定している。
土木工事業	建設資材の高騰の影響が非常に大きく、倒産企業も増加傾向。(対前年同月比で40%の増加)
菓子材料(卸)	卵不足については、最悪な状況を脱して供給はされるようになった。ただし価格は非常に上がってしまった。
茶(加・小)	物価高騰で売価上げ、客単価アップで客数減が続くとみられる。
家庭電化製品(販)	物価が高騰しているために、お客様の商品購入の意欲は低い。故障しなければ、買替に繋がらない。

事業協同組合(青果)	飲食店を営んでいる。最近、原材料の高騰で値上げをしたが、客足の減少に繋がる可能性が心配である。
事業協同組合(石油)	原油価格は高止まり、円安も加わり販売価格は下がらない。
居酒屋	7月から酒類の値上げが懸念。
経営コンサルタント	原材料や電気代が高騰している
ディスプレイ業	物価（仕入れ）の高騰が止まらない。
<b>■インボイス制度への対応</b>	
木製家具(製)	すべての人が対応できるのか心配。
鉄材料(販)	インボイス登録業者かどうかの問い合わせが増えた。
税理士	インボイス制度の施行により、デジタル化への関心度合が高まり、業務の効率化を進めている企業が増えている。
<b>■その他</b>	
事業協同組合(機械)	人手不足が続いている。時給を1,200円以上にしてもハローワークその他からの求人が面接にも来ない。
社会保険労務士	「社会保険扶養範囲内での働き方」と、「賃上げ」による「働く時間短縮」の課題が大きくなってきた。
社会保険労務士	少子化対策費を社会保険料に加算して賄おうとするのはいかがなものかと思う。

以上